



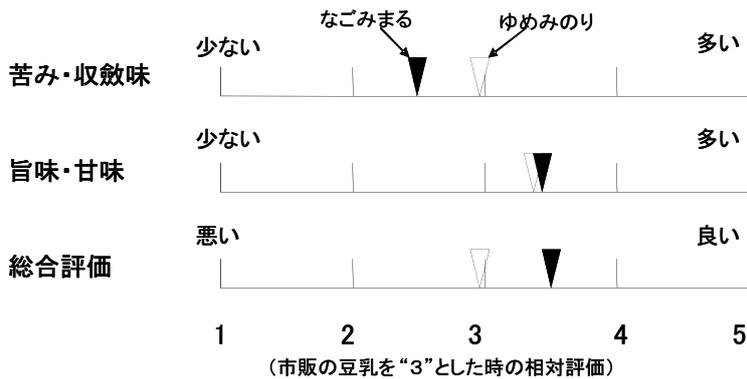
豆乳用だいたず新品種

なごみまる

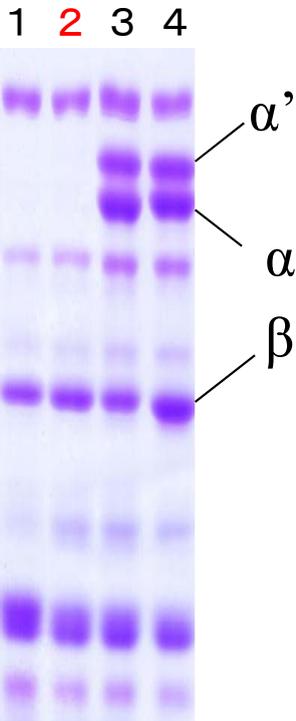
New Soybean Cultivar "Nagomimaru"

近年、固形分濃度が高い豆乳や大豆を全粒で用いた豆乳様飲料などの消費が伸びています。そこで、作物研究所では栽培しやすく、農業特性の優れた、豆乳用品種を育成しました。この品種は、豆乳用原料として優れているだけでなく、主要アレルゲンの一部を欠失しているため、加工技術と組み合わせることで、アレルギーリスクの軽減が期待できます。

「なごみまる」は豆乳適性が優れています



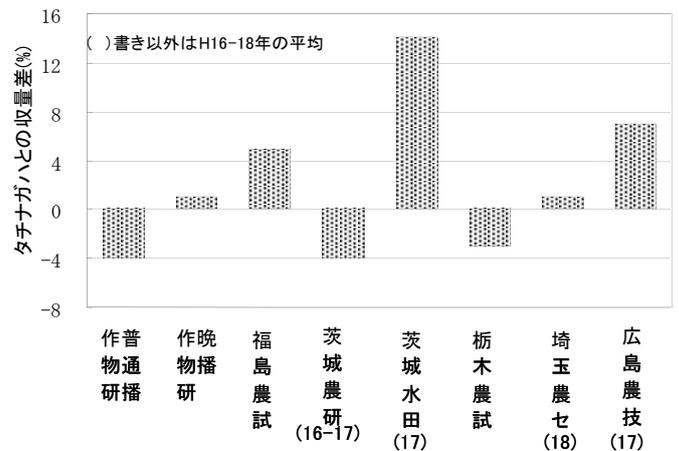
豆乳様飲料の食味評価



- 1: ゆめみのり
- 2: なごみまる
- 3: タチナガハ
- 4: サチユタカ

「なごみまる」は主要アレルゲンタンパク質の一つであるβ-コングリシニンのαおよびα'サブユニットを欠失しています

「なごみまる」は「タチナガハ」並の収量性と耐倒伏性を備えています



日本各地における「タチナガハ」との収量差



「なごみまる」の栽培風景

- 栽培適地は東北中南部～関東北部です。
- 成熟期は「タチナガハ」よりやや早生です。
- 加工技術と組み合わせることにより、アレルギーリスク軽減食品の原料として期待できます。

農研機構 作物研究所 畑作物研究領域

問い合わせ先: 企画管理室 tel: 029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/nics/index.html>

2007-Ⅱ1b